

(特非) 環境とくしまネットワーク

「地域主導型」四国（志国）創生・地エネ 利活用プロジェクト

イベントの
延べ参加者数 215人

再生可能エネルギー
実証データ取得 36日間

活動の全体目標
に対する達成度 70%



体験型勉強会 / 小水力編の風景

◆成果と工夫したポイント

- 成果** 何が資源になり、何が資源として利用されるかは、四国の生産力・技術の発展状況、利活用する側の状況によって異なる。現対象5地区における地域資源、自然エネルギーを地域の循環的活性化と創生に対し、活用する。
- 工夫** 資源活用エネルギー数値データと地域独特の環境気象測定値の分析による、今後のエネルギーの活用の検討。

課題

四国地域から資源活用エネルギーや創造力を引出し、実現可能な推進活動が重要。本プロジェクトによって異なる地域・組織団体との連携や、協働ネットワークの展開を図る。

活動内容

①地域外の大企業主導の自然エネルギーでは、その成果は大企業・都市に吸収され、地域振興につながらない。地域資源である自然エネルギーの利活用の成果を地域振興に繋げるために、地域住民、地域主体の自然エネルギー事業化は不可欠。②本格的な自然エネルギー事業に取り組む上で重要な技術的手法・関連ソフト&ハード等を学び、地域活性化につながる自然エネルギー導入推進方策について考える。



活動参加者の集合写真

今後の課題

現実に創りだす、本年度の実証対象地区を軸に自然エネルギー活用策と、理解しやすいエネルギーの数値化と見える化によって、より多くの住民参画を視野として捉えることによって、事業の拡大・持続可能な展開を図る。